

～拓殖大学では、研究所の研究成果を皆様に公開しております、お気軽にご参加ください。～

受講料：各回1,000円 定員：250名（事前申込は不要です、当日直接会場にお越しください。）

主催 人文科学研究所

10月 3日（土）「戦後70年と『歴史認識』問題」～日本は中韓露の封じ込め戦略に対抗できるのだろうか～

講師：下條 正男（拓殖大学国際学部教授） 13:00～14:30（受付開始12:30）

今年は戦後70年。だがそれは日本の国家主権が侵され続ける始まりでもあった。『日本国憲法』の前文では「平和を愛する諸国民の公正と信義に信頼してわれらの安全と生存を保持しようと決意した」が、韓国には竹島を奪われ、北朝鮮との拉致問題は未解決のままである。さらに近年は、中国が尖閣諸島を虎視眈々と狙っている。それをカムフラージュする外交戦略が中韓露の『歴史認識』問題である。日本はいかに対処すべきなのだろうか。

主催 政治経済研究所

10月10日（土）「最先端の政治学が分析する諸問題」～地方政治、中国のネット検閲、選挙戦術～

講師：浅野 正彦（拓殖大学政経学部教授） 13:00～14:30（受付開始12:30）

ここ10年の間、政治学においては「データ革命」が急速に進展している。従来は、世論調査や地域別の集計データを使ったデータ分析を行っていたが、近年ではインターネット上でデジタル化されたデータを瞬時にダウンロードしたり、人工衛星から撮影した詳細な写真や地理情報を使ったり、自動顔認証技術を駆使したデータを使って、従来は不可能と考えられていた分析が可能になっている。ここでは、近年、実証政治学の分野において最先端技術を駆使して生み出された様々な研究成果を紹介したい。

主催 政治経済研究所

10月24日（土）「中国の『一带一路』地域協力構想と対外経済戦略」

講師：朱 炎（拓殖大学政経学部教授） 13:00～14:30（受付開始12:30）

中国は対外経済戦略の一環として、「一帯（シルクロード経済帯）一路（海上シルクロード）」構想を打ち出した。二つのシルクロードでつながる関係諸国との間で経済協力を進め、交通、輸送、エネルギーなどの分野で、インフラ整備の建設を支援し、資金を提供する。また、国際金融機関として、アジアインフラ投資銀行（AIIB）を創設する。「一帯一路」構想はどのように進めるか、日本にどのような影響を及ぼすか、日本はどのように対応を取るべきか、などを説明する。

主催 経営経理研究所

11月 7日（土）「相続（相続税）と生前贈与（贈与税）」

講師：小林 幹雄（拓殖大学商学部教授） 13:00～14:30（受付開始12:30）

家族に対し財産の贈与をする場合には贈与税が課されるため、生前贈与より相続税の負担を軽減することができないのが現行相続税法の基本的な仕組みです。しかしながら、生前贈与を計画的に行うことにより贈与税と相続税を通じて負担すべき税額を極力減らせることも現行法が予定しているところです。具体的には遺産額、贈与額、家族構成など種々の要因により異なりますが、現行制度の基本的な枠組みを理解することにより計画的な生前贈与も可能となります。

主催 理工学総合研究所

11月14日（土）「技術で守るとは？防衛装備研究開発最前線」

～国民の日々の暮らし、すなわち国家の安全を守るために必要な技術とは何か～

講師：渡辺 秀明（防衛省 技術研究本部長） 13:00～14:30（受付開始12:30）

我が国の安全を守るための防衛装備の研究開発は、日進月歩の最先端の技術を用いて進めることが求められています。安全保障について余り意識していない方にもわかりやすく、防衛装備とそれを支える技術について理解して頂く事を目的としています。

会場： 拓殖大学文京キャンパス 東京メトロ丸ノ内線「茗荷谷駅」下車徒歩3分

お問い合わせ： 拓殖大学オープンカレッジ課 TEL03-3947-7166

受付時間： 月～木曜日：13:30～19:00 金～土曜日：11:00～17:00

ホームページでご確認いただけます。

拓殖大学 公開講座 検索



拓殖大学では、次の **公開講座（オープンカレッジ）** も開講しています。

◎外国語講座

*クラス定員に空きがある場合は途中からの受講も可能です。

アラビア、ブラジル・ポルトガル、広東、中国、ダリー（アフガニスタン）、ヒンディー（インド）、インドネシア、韓国、モンゴル、ミャンマー、ペルシア、ロシア、スペイン、タイ、チベット、トルコ、台湾、ベトナムの各言語。「入門」「中級」「上級」の各コースがあります。

◎日本語教師養成講座

*今年度の募集は終了いたしました。

◎国際講座

*随時参加可能です。

海外事情研究所では、世界のタイムリーな話題をテーマに、学内外の講師を招聘し公開講座を開催しています。年間15回土曜日の午前に開催しています。

◎アジア塾

*今年度の募集は終了いたしました。

◎国際開発教育ファシリテーター養成コース

*今年度の募集は終了いたしました。

◎高校生のためのアジアの言語と文化講座

*今年度の募集は終了いたしました。

◎イスラーム研究所タフスィール（クルアーン解釈）公開研究会

*随時参加可能です。

タフスィール（クルアーン解釈）公開研究会を、年7回程度土曜日の午後に開催しています。

～春から外国語、始めてみませんか？外国語講座の担当講師がお伝えする3つの講座です～

「知的好奇心への誘い」

後援：公益財団法人文京アカデミー

受講料：無 料 定 員：250名（事前申込は不要です、当日直接会場にお越しください。）

1月30日（土）「サラーム（こんにちは）」

講 師：ファヒム・ナワビ（拓殖大学言語文化研究所講師） 13:00～14:30（受付開始12:30）

アジア大陸のハートとも呼ばれる、7000m級の美しい山々がそびえる多民族国家アフガニスタンはシルクロードの重要な交差点でもあります。標高1800mの首都カブールは3000年の歴史を誇り、最近数十年続いた戦災からも復興しつつあり、伝統と近代都市両方の魅力を合わせ持っています。

ジャームのミナレットとパーミヤンの仏像は世界文化遺産として国内外に高く評価されています。また、紀元前から採掘が続いている青色の宝石ラピスラズリを始め、世界最大規模の各種鉱物、宝石等の豊富な鉱脈が数多く存在することが古くから知られています。その他絨毯、ざくろ、ぶどう、ドライフルーツ等もアフガニスタンの魅力の一部です。

言語を通じて、アフガニスタンの文化、歴史、人々の生活等を紹介したいと思います。

2月6日（土）「インドネシアの魅力」

講 師：好光 智子（拓殖大学言語文化研究所講師） 13:00～14:30（受付開始12:30）

1万5000以上の島々からなるインドネシアは、多くの種族・方言があり、また、昨今ではアジア諸国のリーダー的存在として経済発展を遂げてきました。経済だけにとどまらず、人類学、生物学、歴史、芸術とどれをとっても魅力的な国。

この講座では、言語学習のみならず、学習を通じてインドネシアの魅力をお伝えします。是非その魅力に取りつかれてください。

ローマ字表記で、覚えやすい単語はすぐに馴染んでいくと思います。

Mari kita belajar!!（さあ、学びましょう!!）

2月13日（土）「モンゴルへようこそ！」

講 師：吉野 耕造（拓殖大学言語文化研究所講師） 13:00～14:30（受付開始12:30）

モンゴル国は東アジアに位置する内陸国です。当国はかつて社会主義国でしたが、冷戦崩壊後は市場経済化を推進する民主主義国家として著しい発展を遂げています。日本との人的交流も盛んになり、日本人観光客も年々増加しています。講座「知的好奇心への誘い」ではモンゴル語のあいさつ表現、首都ウランバートルの観光スポット、モンゴルの食文化等をご紹介します。

本学の公開講座、オープンカレッジ、シンポジウムなど受講にあたってのお願い

みなさまに気持ちよくご参加いただけるよう、以下の事項を必ずお守りください。

- 携行品の盗難、紛失、破損などの責任は負いかねますので、ご了承下さい。
- 車、バイク、自転車での来校はお断りします。各種公共交通機関をご利用ください。
- 次の行為は、ご遠慮頂いております。（受講をお断りすることがあります。）
 - ・受講者、講師等に迷惑となるような行為
 - ・録音、録画、写真撮影
 - ・講義、講演の進行を妨げると思われる行為
 - ・勧誘、宣伝広告